

大会テーマ **第40回 宇治市青少年健全育成推進大会**

気づいてる？ あなたのまわりの あたたかさ



発行者
宇治市青少年健全育成協議会
会長 蔦 繁行
事務局
宇治市教育委員会 教育支援課
TEL 20-8766



「気づいてる？あなたのまわりのあたたかさ」をメインテーマに青少年健全育成関係者や育友会・PTA等の市民が一堂に会し、研修や交流を深め、実践的な活動をより一層推進することを目的に第40回宇治市青少年健全育成推進大会を開催しました。

この3年間は、新型コロナウイルス感染症対策として、一昨年度は誌面開催、昨年度は無観客のライブ配信開催としてきましたが、今年度は集会形式で開催しました。当日は150人を超える参加者があり、人と人とのつながりを感じるとてもあたたかい大会となりました。

日時 令和5年1月29日(日) 13時～

場所 宇治市生涯学習センター

第1部 式典・感謝状贈呈

第2部 実践活動報告

ジュニアリーダー会からの報告
幹事 六川 紘空 氏

地域青少協活動報告
北小倉学区青少年健全育成協議会
会長 宮田 美榮 氏

第3部 講演
演題 「子どもの可能性を引き出す指導」
講師 京都府立乙訓高等学校教諭
硬式野球部監督 市川 靖久 氏



さて、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から令和2年度・3年度の事業は、ほとんどが中止や縮小となりましたが、令和4年度には一部の地域青少協では感染対策のもと、青少年によるクリーン運動や、地域の事業は開催されました。

また、令和5年1月29日には、第40回宇治市青少年健全育成推進大会を、コロナ禍前のように会場で皆様に集まっていたように開催し、久しぶりに多くの方々と顔を合わせての交流が出来たことを大変嬉しく思います。今後はウイズコロナ・ポストコロナを想定しながら、今まで以上に各事



「あいさつ」
宇治市青少年健全育成協議会
会長 蔦 繁行

浅春の候、皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は青少年の健全育成に、多大なるご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

業の検討を行う必要があります。しかし、団体によっては、事業内容の引継ぎが十分にできないまま役員が交代されているとお聞きます。以前のことを知っている役員がアドバイザーをしながら協力して人と人がつながりあえる地域づくりに努められることを心から願います。

当協議会はこれからも地域青少協の活動の充実、京都府青少年育成協会や城陽・久御山等地域の青少年育成団体との連携、クリーン運動の実施、中学生の主張大会の実施、ジュニアリーダー養成(ふる里)学習会の実施等、各種団体との強力な連携を強め、地域の実情に即応し、地域に根ざした健全育成活動を推進したいと思っております。

結びに、市民の皆様、各種団体の皆様のこれから益々のご活躍とご健康、ご多幸、そして、新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を願います。ごあいさつとさせていただきます。

宇治市青少年健全育成感謝状贈呈

令和4年度

ありがとうございます
これからもよろしくお願ひします



地域で地道に優れた活動を展開している青少年団体、グループ、青少年及び青少年指導者等を顕彰し、その活動を奨励するとともに、広く一般に周知することにより、青少年健全育成活動が一層促進される契機となることを狙いとしてこの事業を実施しています。



個人

(順不同)

- 木幡中学校区青少協 古川 育代 様
- 北小倉学区青少協 前田 和 様
- 北小倉学区青少協 岩出 章 様
- 宇治地区青少協 福山 一男 様
- 小倉校区少年補導委員会 池本 栄子 様
- 小倉校区少年補導委員会 森 ひとみ 様
- 大久保校区少年補導委員会 中谷 延子 様
- 西大久保校区少年補導委員会 中澤 敬治 様
- 宇治黄檗学園少年補導委員会 白谷 吉弘 様

第2部 実践活動報告

ジュニアリーダー会からの報告

ジュニアリーダー会 幹事 六川 紘空氏



ジュニアリーダー会は、青少年が集団生活を通して、相互に交流を図り、連携と強調、規律と友愛、そして奉仕の心を学習することを目的として活動しています。主な活動は、ジュニアリーダー養成(ふる里)学習会で、毎年7月末頃に宇治市内の小学校5・6年生を対象として開催しています。この学

令和4年12月10日(土)9:00から15:30まで宇治市総合野外活動センターアクトパル宇治で「ジュニアリーダー研修会」を実施しました!

午前 開会式
体育館にて「スタンツ」
午後 研修室で「ジュニアリーダー会活動の歴史」についての研修
閉会式



習会を通して、小学生たちは学校という地域の垣根を越えて集団生活をし、日常生活では得られない経験を学ぶ機会となっています。その学習会に参加した小学生が中学生になると、今度は参加者ではなく、学習会などを中心となって企画・運営するジュニアリーダーとなり、毎月の会議や学習会などの運営を通して、人の前に立つて話をする人や人に教えることを経験しました。これらの経験が自分の成長に繋がったと考えています。

現在、北小倉青少協では、34名の運営委員によって活動しています。当青少協は、新型コロナウイルス発生までは、12月の第1土曜日をクリーン運動の日と定め、クリーン運動と世代間交流に取り組みました。各町内会・自治会の皆さん方にも多くのご参加いただきました。また、今回のクリーン運動には、スポーツ少年団から140名の参加がありました。その他の事業としては、年3回の役員会と運営委員会を開催し、7月と8月に1回、12月には2回の街頭パトロールを実施しています。

北小倉青少協からの報告

北小倉学区青少協代表 宮田 美榮氏 (発表より要旨抜粋)

開を行いました。12月10日にアクトパル宇治で開催した研修会では、自分たちで考えて企画・運営する感覚を思い出す機会となり、コロナ禍から大きく前進することが出来ました。

令和5年度はジュニアリーダー養成(ふる里)学習会などの活動を再開し、推進して行く年にしたいと考えています。

第3部 講演

講師 京都府立乙訓高等学校教諭 市川 靖久氏
演題 「子どもの可能性を引き出す指導」 (講演より要旨抜粋)



小学校2年生の冬頃に友達に誘われて、地元の少年野球チームに入団し、中学は硬式野球のクラブチームではなく、地元中学の部活動で活動した。鳥羽高校に進学して運よく甲子園にも2回出場し、合計6試合経験。勝って、次もあるつもりが、わずかに15分ぐらいの間にサヨナラ負けを喫し、高校野球が終わりになってしまった。それが悔しくて、もう一度甲子園で試合をするには、指導者として戻ってくるしかないと思いき、指導者の道に進む原動力となった。

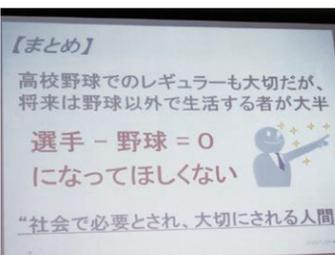
「俺が甲子園に連れて行ってやる」から「選手に甲子園に連れて行ってもらう」というように指導方針を見直し、チームの意識改革についての考えが

「このように現在、北小倉小学校にはたくさん虹がかかっています。学校を訪れた方からも、すごい学校に虹がかかっているのですね。素敵ですね。」と言われることも多く、子どもたちはうれ

・5年前に指導方針の見直しをした結果、人間力の育成が一番大切だということ考えになった。
・社会に出て、課題を乗り越えるための力を養うためには、選手の本体性を尊重しないといけないと悟って、今はチームづくりを心掛けている。
・高校野球はあくまでも「社会」が必要とされる人間になるためのひとつの手段である。
・自分が解釈している社会のレギュラーというのは、「社会」が必要とされる人間になるということである。

・指導方針を見直し、見えてきた生徒の変化は根拠のある理論で説明しないと納得して行動には移さないが、逆にしっかりと

・高い気持になり、北小倉小学校を自慢に思うようにもなりました。
・「何のために、誰のために高校野球をやるのか」を大切に。人のために頑張れるという人間になって欲しいという願いがある。
・日誌を活用して、生徒たちがどのように考えているのかを知る工夫をした。
・昔のようなトップダウンの指導ではなく、選手たちからも意見を吸い上げて、選手同士や選手と指導者で考え方を、共通理解することが大切だと思っている。
・そのような取り組みもあって、翌年の選抜甲子園大会の初出場を果たすことができた。
・自分が野球から離れた時に、どのような人間になっているのかを、大切にしたい。自分から野球をとったら、何も残らないという人間にはなってほしくない。
・高校野球を通じて、技術力向上はもちろんだが、社会で必要とされ、大切にされる人間になる。という部分を大切にしたい。



第41回宇治市「中学生の主張」大会



主催 宇治市教育委員会 宇治市青少年健全育成協議会 宇治市連合育友会



令和4年11月12日(土)

宇治市生涯学習センター第1ホール
中学生の鋭い感性と素直な気持ちから生まれる主張を真っ直ぐ届けました!!



Withコロナ禍、今年度の第41回大会は、ご来賓の皆様方を招待したものの、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを抑えるため、関係者の参加人数を制限をした縮小開催としました。当日は、市内11中学校の代表生徒が、学校生活や家庭・地域社会の中で経験したことや考えたこと、伝えたい思いを中学生ならではの豊かな感性でとらえ、自分の言葉で「主張」として発表しました。

◆受賞者

- 宇治市教育委員会賞 宇治中学校3年 戸上 鈴
- 宇治市青少年健全育成協議会賞 立命館宇治中学校2年 竹本有里彩
- 宇治市連合育友会賞 木幡中学校2年 森 陽輝

◆各校代表者

- タブレットを使うことの利点とそれを越える問題 黄檗中学校1年 春山 未羽
- 二人で一本 宇治中学校3年 戸上 鈴
- ポテトサラダ 西小倉中学校2年 中川 総
- 長所と短所 広野中学校3年 小澤 雄大
- 共に生きるために 立命館宇治中学校2年 竹本有里彩
- ポジティブの作り方 東宇治中学校1年 末光 芽衣
- 見た目では分からない 西宇治中学校3年 本田 佳愛
- 二度と起こってはならないこと 北宇治中学校3年 後藤 斗武
- 犬の殺処分をゼロにするために 南宇治中学校3年 重永 若那
- 人をつなぐあいさつ 木幡中学校2年 森 陽輝
- 自分らしくいること 横島中学校2年 船越 朱芭

<京都府立宇治支援学校は「中学部の学び」をまとめ冊子の紙面で発表しました。>

【表紙絵作成】

- 樋口穂乃花 (黄檗中学校3年)
- 古田 璃奈 (黄檗中学校3年)

【司会】

- 塔野岡 愛 (黄檗中学校3年)
- 茗荷 拓希 (黄檗中学校3年)

(敬称略)

管外研修に代わる研修会を実施しました!

令和5年2月14日(火) 宇治市生涯学習センター第2ホール

演題 「地域学校協働活動とは」～学校と地域が共に成長する関係を目指して～
講師 新谷明美 氏 (奈良市富雄中学校区地域教育協議会総合コーディネーター)



昨年度は、オンラインで計画した研修でしたが、直前のインターネット回線の不調で急遽中止となりました。今年度は、会場に青少協運営委員、少年補導委員、育友会・PTA、学校、教育支援課等の関係者62名が参加し、地域学校協働活動や学校運営協議会について研修しました。



編集後記

長引くコロナ禍にあって、宇治市青少協だよりをお読みいただきありがとうございます。

宇治市青少年健全育成協議会の活動を皆さんに知っていただくことが広報の役割ですので、これからも人と人とのつながりを広げながら地域力を強め、子ども達の元気な姿と皆様のご活躍をお届けできればと思います。

最後になりましたが、発行に際しまして、関係各位にご協力いただきました事に感謝し、心より厚く御礼を申し上げます。

事務局紹介

教育支援課内

- 事務局長 金久 洋 (教育支援課 課長)
- 事務局長 石橋 路子 (教育支援課 家庭地域支援係長)
- 〃 佐野 雅俊 (教育支援課 主任)
- 〃 川井 利彦 (教育支援課 青少年専門指導員)



令和4年度

宇治市青少年健全育成協議会役員

広報委員	研究委員	企画委員	会計監査	会計監査	副会長	副会長	副会長	会長
長	長	長	長	長	長	長	長	長
西川	関河	吉田	下山	松田	下田	竹内	藤田	齊藤
千香子	嘉賢	廣昭	三登	純良	佳則	和理	繁廣	繁行